

組織名	大瀬川活性化会議
事業名	オレカフェから夏まつり その先
新規・継続	継続(事業開始:令和4年度)
現状・課題等	・コロナ禍をきっかけに地域活動が停滞 ・地域の将来を担う世代(青年部層など)の活動が縮小、停滞 ・元々地域づくりに若い世代、女性の声を聞く機会が少ない ↓ ◎コロナ禍で休止されていた「盆踊り」を復活させ、大瀬川地域の恒例行事として地区民に広く参加を呼びかけ、地域活動を盛り上げるきっかけにしたい。 ー従来の盆踊りー 3つの青年部が協力して8月14日に大瀬川運動公園で開催。地元である第8区行政区が主体で、7区、9区の住民参加はあまり見られない(8区の盆踊りという認識)。
実施形態	青年部層を中心に、コミュニティ会議が補助
実施主体	夏まつり実行委員会

ここで：用語の説明

○わたかふえ

婦人会組織の解散をきっかけに「女性が気軽に集まって話をしたり活動できる場が欲しい」

という声に応えるため、地域づくりサポート事業を活用して女性が集まりやすい場づくりを試みる。
(R3.10)

わたしの(わたしたちの)かふえ⇒わたかふえ

○オレカフェ

青年部層を対象とした集まり。停滞する活動にいてもたってもいられなくなり、サポート事業の継続を申請。3つの青年部組織に呼びかける。(R4.11)

オレの(オレたちの)カフェ⇒オレカフェ

夏まつり事業

(大瀬川活性化会議)

事業概要

第1部:こども向けイベント



ビンゴでお菓子がもらえる



行燈の絵付け



盆踊り開始前に手持ち花火

工夫や留意した事項

※イベントを2部構成にし、こどもが参加しやすい時間帯にこども向けのイベントを配置した。

事業効果や反省点

※輪投げや水ヨーヨーつり、くじなど、こどもたちは飽きないで楽しんでいた。
※対応するスタッフがもう少しほしかった。

夏まつり事業

(大瀬川活性化会議)

事業概要

その他:屋内ステージ(カラオケ、ギター演奏)



工夫や留意した事項 ※「わたかふえ」が作った牛乳パック ランタンを飾った。

事業効果や反省点 ※男女問わず事業に関わる人員を増やすこと。

夏まつり事業

(大瀬川活性化会議)

事業概要

第2部 : 盆踊り(大瀬川音頭、ダンシング・ヒーロー)



「わたかふえ」
ダンシング・ヒーロー練習風景



当日の様子

工夫した事項 ※毎月開催の「わたかふえ」で、大瀬川音頭や密かにダンシング・ヒーロー盆踊りを練習。

事業効果 ※大雨のため屋内開催となったが、こども連れや若い人も集まって楽しんでいた。
お盆で帰省した家族や若者の姿も見られスタッフとして数名参加。

夏まつり事業

(大瀬川活性化会議)

事業概要

屋台：焼き鳥、フランクフルト、焼きそば、ビール、ジュース、かき氷



工夫や留意した事項

※大雨で屋外屋台の雨よけに苦慮

事業効果や反省点

※スタッフの役割分担が不十分で屋台担当が繁忙になり不満が残った。人数の確保が課題。

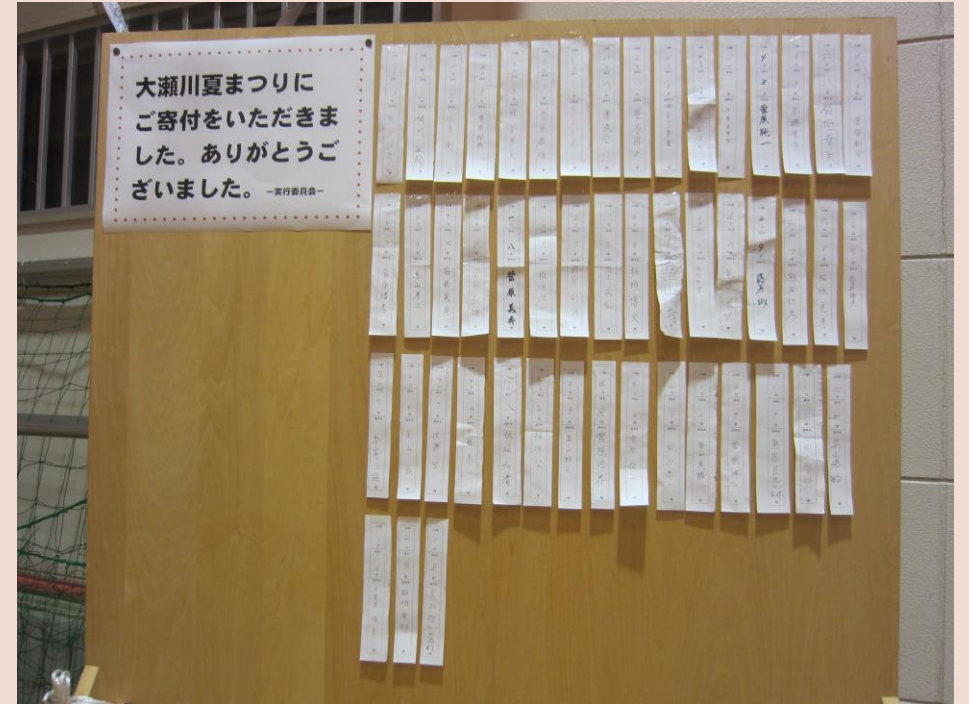
夏まつり事業

(大瀬川活性化会議)

事業概要



盆踊り参加賞 (Boxティッシュ)



寄付金 (一口500円)

工夫や留意した事項

※ 従来のような景品は準備しなかったため、参加した記念品としてBoxティッシュを提供した。

事業効果や反省点

※ 景品があれば良かったとの声があった。

夏まつり事業	(大瀬川活性化会議)
事業概要	参加者数 100人 (来場者80人スタッフ20人) 【収入】 ・寄付金(全戸対象 51軒/200軒) ・売上金(屋台) ・助成金(コミュニティ) 【支出】 ・屋台食材、包装材料費ほか ・機材調達費(ガスボンベ、焼き台等) ・謝礼ほか(雨よけアーケード資材、音響機材借用ほか) 繰越金は次年度運営費へ
工夫や留意した事項	※寄付金は協力しやすい金額を設定(一口500円)
事業効果や反省点	※『とにかくやってみる!』で着手したため 企画から運営までの準備期間が短く、要改善点多かったが、反省点は次に生かすことでOK。